

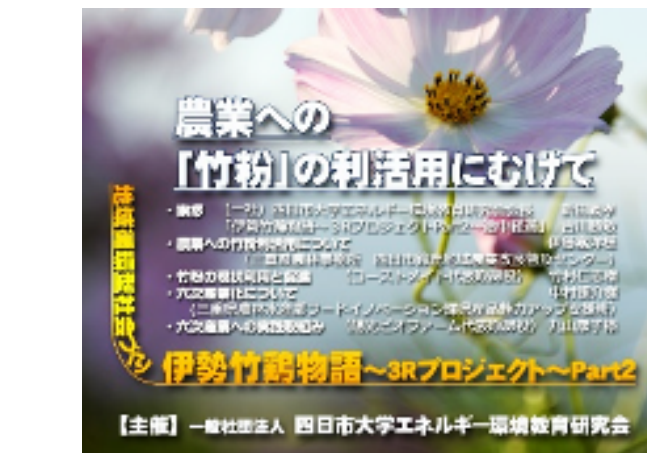
# 平成27年度 四日市市環境活動賞 受賞者

## (一社)四日市大学エネルギー環境教育研究会

### ●活動の目的

地域に特色のある持続可能な社会を形成するためのプロジェクトを興し、社会の課題解決のために知的貢献と実践行動、そして、調査研究など、あらゆる主体と協働しながら、そこから得る知見を次世代に繋いでいくことを目的としている。

1. **環境教育 (ESD)** : 学校および社会において環境教育の推進を図る活動
2. **地域循環型社会づくり** : 持続可能な社会実現のために環境の保全を図る活動
3. **四季報「共創」の発行** : 社会全体のバランスが取れた持続可能な未来に向け、価値を生み出す情報提供



# ●活動内容

## 活動1の紹介：環境教育(ESD)

指導内容を参加者に届くように、学校教育や社会教育において児童や社会人に対応し、各分野におけるカリキュラムの開発につなげている。



↑環境省20プログラムに採用

## 活動2の紹介：地域循環型社会づくり

「伊勢竹鶏物語～3Rプロジェクト～Part1.2」は、里山保全をする団体と繁茂する竹を資源として農業生産や土壌改良などへ利用しながら、良質な地域ブランドの開発を進め、環境教育と共に消費者など地域全体が報われる地域循環システムの構築を実現するプロジェクトで、地域活性化につなげる。





## ●今後の予定

1. **環境教育（学校教育・社会教育）**：学校の授業では各教科に照らし合わせながら深い学びにつなげていく。同じく社会教育においても児童や参加者より答えを導き出し、ESDの視点に立ったプログラム開発と学習指導を目標として「人づくり」を継続して行う。
2. **地域循環型（地域活性化）社会づくり**：市内の里山を守るべく本来の竹の特徴を生かし、土壌の健全化と高品質な農作物、稲作りの実証を重ねていく。また、リサイクルステーションを拠点に、竹林整備者、農業者、研究者、専門家などと連携・協働しながら、地産地消、六次産業化、環境教育などを実施する。環境保全とともに、地域全体が報われること目的に進展させていく。
3. **四季報“共創”の発行**：単なる団体のPR紙ではなく、社会の課題に対して、各専門分野から寄稿として企業からの協賛により社会へ年4回継続して発信する。

## ●経歴(概要)

- 14年度：資源エネルギー庁から採択されエネルギー教育普及推進事業
- 19、20、21年度：内部地区「環境未来塾」企画、運営
- 20、22、24年度：四日市市リーダー養成講座、企画、委託運営
- 22年度：①生物多様性条約第10回締約国際会議(COP10)に招待講演。  
②環境省「環境白書」に事業掲載。③eco japan cop2010で奨励賞表彰授与  
④みなまた環境大学「環境教育プログラム」入賞
- 25年度：①環境省 ESDエコキッズフェア支援学校が全国大会へ  
②環境省 ESD20のプログラムに採用され、全国へ冊子として配付。
- 26年度：①暮らしと省エネ行動 ②こわれた地球をとりもどそう！電子絵本と体験実験  
③環境フェアや四日市市環境シンポジウム各イベント ①②③延べ2,800名

## ●受賞者の概要

団体名称	一般社団法人 四日市大学エネルギー環境教育研究会
代表	会長:新田義孝
活動内容	1. 環境教育(ESD)普及啓発推進事業 2. 地域循環型社会づくり 3. 四季報“共創”の発行
これまでの活動経緯	・平成14年 資源エネルギー庁より全国の大学より,エネルギー環境教育に選定され発足した。 ・平成24年 一般社団法人となる。 ・活動期間は、28年度で14年目を迎える。 ・多くの活動経緯があるので、ホームページなどで確認をお願いしたい。 <a href="http://www.yokkaichi-ene.com/">http://www.yokkaichi-ene.com/</a>
主な活動場所	四日市市全域、三重県北勢地域(東員、多度など) その他:愛知県、岐阜県
活動の頻度	週3~4回程度(毎週木曜日:定例会)
活動体制	15名(会長、副会長兼事務局長、職員、会計、研究員、顧問等)
参加人数	活動一回当たりの平均参加数は、平均約35~40名程度
連絡先	〒512-8512 四日市市萱生町1,200番地 電話:059-340-1638 ファクス:059-340-1638 メール: <a href="mailto:info@yokkaichi-ene.com">info@yokkaichi-ene.com</a>